

News Letter

2025年

3月

中国四国農政局
山口県拠点

ジビエの利用拡大に向けた情報交換会＆試食会を開催しました！

山口県拠点は、令和7年2月12日（水）に下関市菊川ふれあい館（通称：アブニール）において、「ジビエの利用拡大に向けた情報交換会＆試食会」を開催しました。



情報交換会の様子

この情報交換会は、下関地域で野生鳥獣の捕獲数が年々増加する中、これを地域資源としてとらえ、ジビエ（野生鳥獣肉）としての利用拡大を図ろうとしたもので、下関市内の行政機関や高校・関係団体から計36名の参加がありました。

冒頭、山口県拠点及び下関市から野生鳥獣の被害状況や捕獲数、ジビエの利用状況に関する情報提供がされた後、ジビエ料理の開発者から開発の経緯や取組内容が説明され、ジビエお米バーガー（JA山口県下関統括本部青壮年部）、ジビエメンチカツ（田部高校）、ジビエナゲット（西市分校）の試食会が行われました。参加者からは、「バンسとパティがマッチして美味しかった」「ナゲットは臭みも無く一口サイズで食べやすかった」「メ

ンチカツはジビエ肉の食感がきちんと残っていて美味しかった」などの感想が寄せられました。



開発されたジビエ料理

試食会後の意見交換では、捕獲数に対しジビエセンターの処理が追い付かない現状や捕獲数に波があり、安定的なジビエ供給が難しいなどの課題が出されたほか、行政に対しては、学校給食におけるジビエ利用の推進やジビエ利用者のネットワークづくりの要望が出されるなど、ジビエ利活用推進に向けて活発な議論が交わされました。



情報交換で発言する高校生

トピックス

山口県立大学学生が野菜づくりの関係者と交流会を開催

山口県拠点は、山口県立大学学生が山口市吉敷地区の関係者と連携して取り組んでいる環境に配慮した野菜づくりを支援してきました。

令和7年2月5日（水）、大学生が地区にある福祉施設内で関係者を招き、自ら栽培した野菜を材料としたカレーを作り、振舞う交流会が開催されました。

交流会には、大学生のほか地域の農業指導者、交流センター職員、社会福祉法人職員など計16人の参加があり、カレーの煮込み時間を利用し

て「この1年を振り返る」と題した意見交換も行われました。大学生からは「年齢を問わず多くの方との交流はとても刺激になった」「来年度も継続して取り組みたい」、地域関係者からは「この取組を通じて交流を深めていきたい」などの感想がありました。

山口県拠点からは、本取組の目的に加え、「みどりの食料システム戦略」について説明を行い理解を深めました。



大学生による調理



意見交換の様子



完成したカレーと酢の物



カレーを楽しむ大学生

インフォメーション

「未来につなげるゆめマルシェ」 ～食べよう！地球にやさしい農産物～ 3月16日に開催するよ～！

山口県拠点では、「みどりの食料システム戦略」の推進に向け、ゆめタウン山口、県、JA、山口市の後援の下、地球環境への関心を高めてもらうため、有機農業など、環境にやさしい農業に取り組む生産者の方の対面によるマルシェを開催することにしました。

多くの方のご来場をお待ちしています。



開催場所・開催日時

- 会場：ゆめタウン山口「ゆめ広場」
山口市大内千坊6-9-1
- 日時：令和7年3月16日（日）
10時～16時

イベント内容

- 環境にやさしい栽培方法に取り組む生産農家による対面販売（無くなり次第終了）
- 農業と環境O×クイズ（午前1回、午後2回）
※上位3名にはプレゼントがあるよ！
- 野菜の重量当て（午前1回、午後2回）
※近い3名にはプレゼントがあるよ！
- 情報発信パネル展示 など



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集：中国四国農政局 山口県拠点

〒753-0088 山口市河原町6-16

TEL (083)922-5404 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>